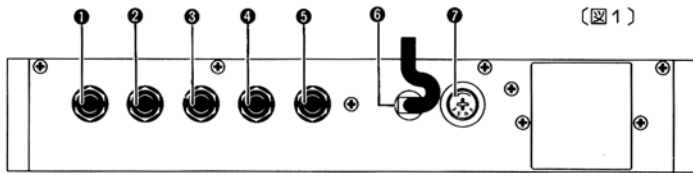


■特長

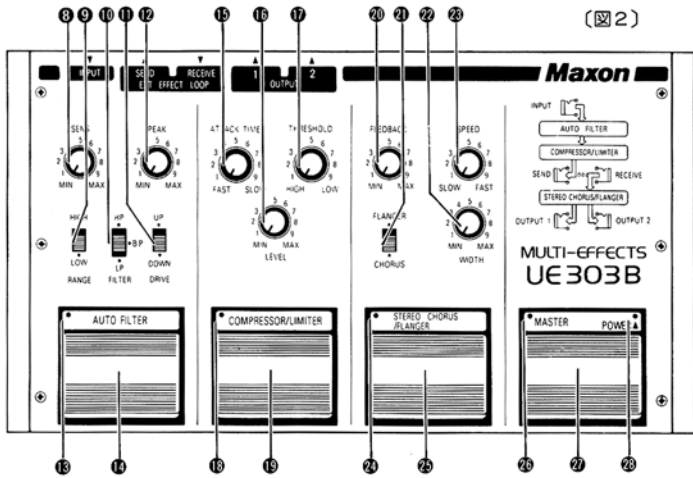
- UE303Bは3種類のハイ・クオリティ・デバイス（オートフィルター、コンプレッサー/リミッター、ステレオコーラス/フランジャー）をコンパクトサイズのケースにビルトインしたマルチエフェクツで、ベースギター、キーボード、エレキギターなどに幅広く使用できます。
- コンプレッサー/リミッターとステレオコーラス/フランジャーの間にお手持ちの第4番目のエフェクターを接続できる、イクスターナル・エフェクト・ループを装備しています。
- 各デバイス及びマスターのエフェクトイン/アウトスイッチには“Q-1”（Quiet-One）電子スイッチを採用し、切替時のポップノイズをシャットアウトしました。
- UE303B にビルトインされている各デバイスと、イクスターナル・エフェクト・ループに接続されたエフェクターのイン/アウト切替を同時にできるマスタースイッチを装備しています。
- 各デバイス及びマスタースイッチのイン/アウトLEDインジケータを装備し、イン/アウトの確実なチェックができます。
- ステレオコーラス用にアウトプット1とアウトプット2の2出力を装備、本格的なステレオコーラス効果が得られます。
- 各デバイスは、プロ思考のローノイズ、ローティステーション設計で、長時間にわたり安定な動作が保証されます。

■各部の名称と使い方

※図1および図2の抜き文字(①~⑳)は文字の抜き文字と対応しています。



(図1)



(図2)

① INPUT (インプット)

入力ジャックです。ベースギター、キーボードなど楽器を接続します。

② EXT EFFECT LOOP/SEND (イクスターナル・エフェクト・ループ/センド)

外部エフェクターへの出力ジャックです。外部エフェクターのインプットジャックと接続します。

③ EXT EFFECT LOOP/RECEIVE (イクスターナル・エフェクト・ループ/レシーブ)

外部エフェクターからの入力ジャックです。外部エフェクターのアウトプットジャックと接続します。外部エフェクターを使用しない場合は、センドジャック②とレシーブジャック③には何も接続しないでください。

④ OUTPUT1 (アウトプット1)

出力ジャックです。アンプのインプットジャックと接続します。ノーマルの時はアウトプット2⑤と同じ信号が出力され、ステレオコーラス・インの時はアウトプット2⑤と逆相のエフェクト信号が出力されます。2台のアンプを使用する場合はアウトプット1④とアウトプット2⑤の両方に、また、1台のアンプを使用する場合はアウトプット1④又はアウトプット2⑤のどちらかに接続します。

⑤ OUTPUT2 (アウトプット2)

出力ジャックです。アンプのインプットジャックと接続します。

⑥ ACコード/プラグ

電源コード/プラグです。電源コンセントと接続します。このUE303Bには電源スイッチはありません、使用しない時はプラグを電源コンセントから抜いてください。

⑦ FUSE (ヒューズ) : 125V/0.5A

電源ヒューズです。ヒューズが切れた場合は必ず「125V/0.5A」のヒューズと交換してください。

* 各コントロールの説明の前に、オートフィルターの基本的動作を理解して頂く為、一般のペダル・ワウと対比して説明します。

ペダル・ワウは、バンド・パス・フィルターを用い、ペダルに運動したボリュームにより、フィルター周波数を可変して、ワウ・ワウ・サウンドを創ります。一方、オートフィルターは、ペダル・ワウのボリュームの部分で電子回路に置き換え、入力信号（ギターの音量）を電圧に変換して制御するVCF（電圧制御フィルター）で、ギター等、楽器の音量の強弱により自動的にワウ効果を得ることができます。更にオートフィルターはシンセサイザーと同じH.P.F.（ハイ・パス・フィルター）とL.P.F.（ロー・パス・フィルター）を装備している為、従来のワウでは得られなかった効果も創り出せます。

⑧ SENS (センシティビティ)

楽器の音量をVCFの制御電圧に変換する感度を調節するノブです。楽器の出力ボリュームの位置やギター等の弾き方によって効果が変わりますので、適切な感度に調節して下さい。ギター等で強く強さが一定の場合、右(MAX)側に回す程フィルター周波数の変化幅が大きくなります。ペダル・ワウでいうとペダルの変化を大きくすると同じです。

⑨ RANGE (レンジ)

フィルター周波数の変化幅を1オクターブ上下させる切替えです。LOW（ロー）レンジでは100Hzから2KHzまで、HIGH（ハイ）レンジでは200Hzから4KHzまでフィルター周波数が変化します。ベース・ギター等は、LOW（ロー）レンジで使用しますと効果的です。

⑩ FILTER (フィルター)

フィルターのモード切替えです。LP.（ロー・パス・フィルター）は図3の特性になり、高い音がカットされます。BP.（バンド・パス・フィルター）は図4の特性になり高低音がカットされ、フィルター共振周波数の特定の音だけが出力されます。HP.（ハイ・パス・フィルター）は図5の特性になり、低い音がカットされます。

⑪ DRIVE (ドライブ)

ギター等の入力信号が大きくなった場合、フィルター周波数が高音側に变化するか低音側に变化するか切替えです。図3、4、5の矢印で示す特性の様にUP（アップ）の場合は、低→高い周波数に、DOWN（ダウン）の場合は、高→低い周波数に変化します。ペダル・ワウの場合ですと、UP（アップ）はペダルを下げた時の効果、DOWN（ダウン）はペダルを上げた時の効果と同じです。（図6）

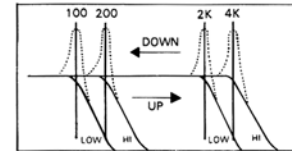
⑫ PEAK (ピーク)

フィルターにピークを持たせワウ効果を強調する為のノブです。シンセサイザーのVCF・レゾナンスと同じ動きをし、右（MAX）に回すほど効果にクセが出ます。（図3～5の点線の特性）このコントロールを上げ過ぎますと、使用するアンプの入力感度により音が歪む場合があります。

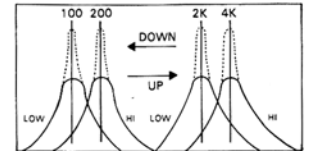
⑬オートフィルターのイン/アウト・インジケータです。⑭のスイッチの踏み込

み動作で切り替わります。点灯でエフェクト・インになります。

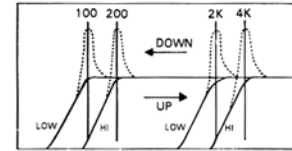
⑮オートフィルターのイン/アウト・スイッチです。



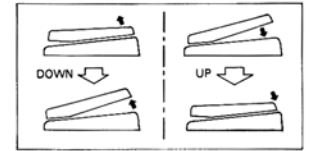
(図3) (ロー・パス・フィルター)



(図4) (バンド・パス・フィルター)



(図5) (ハイ・パス・フィルター)



(図6) (UP/DOWN VS ペダル・ワウ)

⑬ ATTACK-TIME (アタックタイム)

コンプレッサー/リミッターの立ち上がり（アタック）時間を調節するノブです。左（SHORT）いっぱい回した状態がアタックタイムが最も短く、右（LONG）に回すほどアタックタイムは長くなります。ビッキングのアタックを強調したい場合は、ノブを右（LONG側）にセットします。

⑭ LEVEL (レベル)

コンプレッサー/リミッターの出力音量を調節するノブです。左（MIN）いっぱい回した状態が出力レベルは最も小さく、右（MAX）に回すほど出力レベルが大きくなります。このレベルは、ノーマルの音量と同じ位かやや大きめにセットするのが一般的です。

⑮ THRESHOLD (スレッシュホールド)

コンプレッサー/リミッターのコンプレッション効果が掛り出すレベルを調節するノブです。左（HIGH）いっぱい回した状態ではスレッシュホールドレベルが高くなりコンプレッション効果は弱く、又、右（LOW）に回すほどスレッシュホールドレベルが低くなり、コンプレッション効果は強くなります。コンプレッション効果として使用する場合はスレッシュホールドレベルを低く（LOW）側にセットした方が、サステーンも伸び効果的です。又、リミッター効果として使用する場合は逆にスレッシュホールドレベルを高く（HIGH側）にセットするのが基本となります。

⑯コンプレッサー/リミッターのイン/アウト・インジケータです。⑰のスイッチの踏み込み動作で切り替わります。点灯でエフェクト・インになります。

⑱コンプレッサー/リミッターのイン/アウト・スイッチです。

⑲ FEEDBACK (フィードバック)

フランジャーのフィードバック量を調節するノブです。（ステレオコーラスの時は全く動作しません。）左（MIN）ではフィードバックは“0”となり、右（MAX）に回すに従ってフィードバック量が増加し、効果が強調されます。（ノブを右（MAX）いっぱい回しきると発振を起こす場合がありますが、この現象はフィードバック・ボリュームを絞るにより止まり、製品の異常ではありません。）

⑳ステレオコーラス効果とフランジャー効果の切替スイッチです。

㉑ WIDTH (ワイス)

ステレオコーラスとフランジャーの効果の幅を調節するノブです。左（MIN）では最もスイープの幅が少なく、右（MAX）に回すに従ってスイープ幅が広がり効果が深くなります。

㉒ SPEED (スピード)

ステレオコーラス又はフランジャーの効果の速さを調節するノブです。左（SLOW）いっぱいでは最も遅く、右（FAST）に回すに従って速くなります。ステレオコーラスとフランジャーではスピードが違います。セッティングの際は注意してください。

⑳ ステレオコーラス/フランジャーのイン/アウト・インジケータです。㉑のスイッチの踏み込み動作で切り替ります。点灯でエフェクト・インになります。

㉒ ステレオコーラス/フランジャーのイン/アウト・スイッチです。

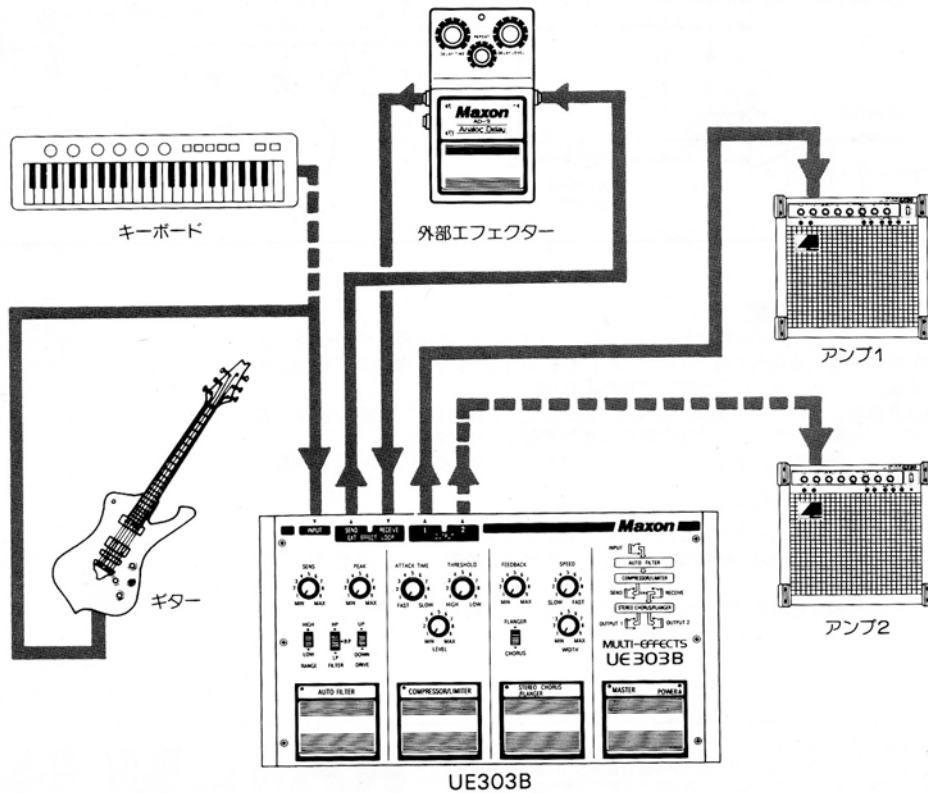
㉓ マスターのエフェクト・イン/アウト・インジケータです。㉔のスイッチの踏み込み動作で切り替ります。点灯でインになり、消灯でUE303Bが完全ノーマル(アウト)になります。ただし、マスタースイッチ㉔だけでは単独でエフェクト・インになりませんので注意してください。オートフィルター、コンプレッサー/リミッター、ステレオコーラス/フランジャー及びイクスターナル・エフェクト・ループに接続されたエフェクターの内、エフェクト・インにあらかじめセットされている物のみがマスター・インでエフェクト・インになります。(オートフィルター、コンプレッサー/リミッター、ステレオコーラス/フランジャー及びイクスターナル・エフェクト・ループに接続されたエフェクターがいずれもエフェクト・インになっていない場合は、マスタースイッチをイン/アウトしても、どちらもノーマルになります。)

㉕ マスターイン/アウト・スイッチです。

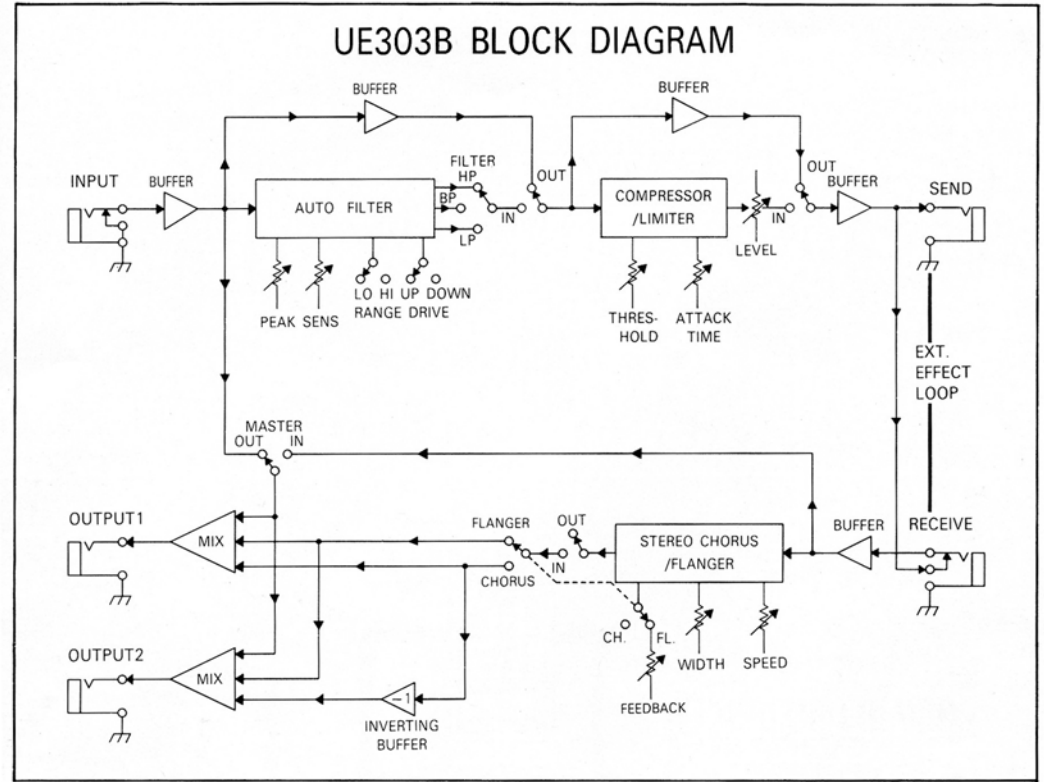
㉖ POWER (パワー)

電源のインジケータです。電源プラグ⑥をACコンセントに入れて、電源がONの時点灯します。

■接続方法 (図7)



■ブロックダイアグラム



■ご使用上の注意

- このセットはAC100V専用です。もしAC100V以外の電源電圧でご使用になられる場合は電圧調整器でAC100Vに合わせてください。又、海外でご使用になられる場合は、当社サービス機関にご相談ください。
- 暖房器具などの近くやアンプの上などの温度が上がる場所及び、直射日光の当たる場所でのご使用はトラブルの原因になりますので避けてください。
- 湿気の多い場所でのご使用や、コーラなどの水の入ったものをセットの上に置くことは避けてください。
- 化学洗剤やシンナー類の使用は避けてください。
- アンプのボリュームを大きくしたままで、電源プラグを抜き差しすると、スピーカーに大きな負担が掛かり破損する恐れがあります。必ずボリュームを0にしてから行なってください。
- セットの移動する場合には、電源プラグや接続コード類を必ず引き抜いてから行なってください。